



原

川端

岡安



代表質問者

川端恵美子

公明党津山市議団

「笑顔あふれる
ふるさと津山」を
目指して

井口公園整備・ときわ園移転整備

質問 ↓ 土地開発公社が所有する井口の土地を活用して都市公園及びときわ園を整備する際、都市公園に防災機能を付加し、ときわ園に虐待を受けた高齢者を一時的に避難する機能を付加することのだが、具体的な整備内容と工程は。

答弁 ↓ 井口公園は、駅南地区に拠点の公園として整備し、ふれあいと安らぎの空間を創出する。災害時の一次避難地の確保と、被災者支援の物資配送や活動拠点としての活用も考えている。24年度に基本設計、25年度に用地取得、26年度に竣工予定である。ときわ園は、80床を整備するほか、養護者の病気等により自宅で介護を受けられなくなった高齢者を一時的に措置する短期入所居室を整備し、虐待を受けて避難が必要な高齢者のためにも活用する。竣工は26年度末の予定である。

学校給食の課題と今後の整備は

質問 ↓ 津山市は平成20年に戸島の給食センターを建設し、全中学校での給食を開始した。この度市内東部をカバーする給食センター構想の津山市学校給食施設等整備計画を公表したが、現状の学校給食の課題をどのように整理し、今後の整備にどう反映させるのか。

答弁 ↓ ①施設の老朽化と学校給食衛生管理基準への適合②給食設備の不均衡は正③献立と給食費の格差は正④調理後2時間以内の給食⑤食材調達と地産地消の推進⑥食育の充実⑦食物アレルギー等への対応など課題として整理している。このような課題を解決するために、有利な財源が利用できるうちに将来を見据えた整備を進めたい。子どもたちが楽しみにしている学校給食をより安全に、安定的に提供できる体制を整えるために今回の整備計画案を作成した。今後、関係者や専門家の意見を聞き、

整備を検討していきたい。

不育症治療の支援策創設について

質問 ↓ 子育て支援として平成24年度創設する不育症治療の支援内容は。

答弁 ↓ 不育症は専門医に不育症と診断され、医療保険の対象外の検査や治療を受けた場合、治療費の範囲内で1年度30万円、全期間で150万円を限度に助成を行う。

災害情報伝達手段の整備を早く

質問 ↓ 第4次総合計画の後期計画での「防災・災害情報伝達手段整備」について実施はどうか。

答弁 ↓ 災害時は様々な方法による情報伝達手段の確保が必要である。後期計画では、FM放送波を利用した情報伝達手段としてコミュニティFMラジオの活用について調査研究を行うこととしている。来年度から倉敷市等の先進地の状況調査やシステムの研究を行い導入について早急に結論を出したい。

◎ 議員は暑中見舞い・年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。